

安全データシート

作成日：2015年 1月 6日

改訂日：2023年 4月26日

[1. 製品及び会社情報]

製品名	リケンフレーム KP-380N
会社名	三木理研工業株式会社
住所	和歌山県和歌山市栄谷13-1
作成部門	品質保証課
電話番号	073-451-2271
FAX 番号	073-451-2639
メールアドレス	qc-info@mikiriken.co.jp
緊急連絡電話番号	073-451-2271 (月曜-金曜 午前8時30分-午後5時30分)
推奨用途	工業用 (防炎加工剤)
使用上の制限	食品用途に使用しないこと
整理番号	SDS-KP-380N-3

[2. 危険有害性の要約]

GHS分類	
物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	分類できない
環境に対する有害性	分類できない

ラベル要素

シンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

取扱い時には以下の点に注意する。

- 注意書き【安全対策】 P201 使用前に取扱説明書入手すること。
 P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P264 取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
 P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

【応急措置】 P301+P333+P305+P314 飲み込んだ場合、皮膚刺激または発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い時は医師の診察/手当を受けること。

【保管】 P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉すること。

【廃棄】 P501 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

[3. 組成、成分情報]

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	主成分：ポリリン酸化合物
成分及び含有量	

成分	含有量	CAS 番号	化審法番号
主成分	25-35%	非公開	非公開
水	残量		

[4. 応急措置]

吸入した場合	気分が悪くなった時は、空気の新鮮な場所に移動させ安静にする。 必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	大量の水・微温湯または石鹼水で十分に洗い落とす。 症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上洗眼し、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	水で口の中をすすぎ、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて胃内を薄め、医師の診断を受ける。意識がない場合は口から何も与えてはならない。
最も重要な徴候及び症状	情報なし
応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	情報なし
[5. 火災時の措置]	
消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、炭酸ガス、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	火災時には酸化炭素、窒素酸化物などの有毒なガスやヒュームが発生する。
特有の消火方法	移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 容器および周囲に散水し冷却する。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業は、可能な限り離れた風上から行う。
消火を行う者の保護	消火作業の際には、適切な保護具（空気呼吸器・耐熱性化学防護服・防火服・防災面等など）を必ず着用する。
[6. 漏出時の措置]	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	状況に応じて適切な保護具（呼吸用保護具・保護衣・保護手袋・保護眼鏡・保護長靴・保護面など）を着用する。 漏出した場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から作業し、風下や周辺の人を退避させる。 屋内の場合、回収が終わるまで十分な換気を行う。
環境に対する注意事項	漏出物を河川、下水、排水溝、低地などへ流出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させ、密閉できる容器に回収する。 多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止してから処理する。
二次災害の防止	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
[7. 取扱い及び保管上の注意]	
取扱い	
技術的対策	取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。 眼や皮膚などへの接触及び吸入に注意し、適切な保護具を着用する。 必要に応じて、局所排気又は全体換気を行う。 取扱いは換気の良いところで行う。
安全取扱注意事項	容器を転倒させたり、落下させたり、引きずりなどしない。 洩れ、溢れ、飛散しないよう注意し、容器は密封しておく。 容器の蓋をあける際は、内圧が上がっていると液が飛散し、眼や皮膚に付着することがあるので、注意する。
接触回避	強酸化剤や酸類との接触を避ける。
衛生対策	取扱い後は手洗い、洗顔、うがいなどをを行うこと。 この製品の取扱い中は飲食や喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光や火気を避け、容器を密閉して換気の良い冷暗所で保管する。 (品質上の保管温度：4－35℃)
安全な容器包装材料	長期保管は避けること。 製品使用の容器に準じる。
[8. ばく露防止及び保護措置]	
設備対策	取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度、許容濃度	換気のよい場所で取扱う。換気の悪い場所では局所排気装置を設置する。
保護具	設定なし
呼吸器の保護具	必要に応じて保護マスクまたは送気式マスクを使用する。
手の保護具	不浸透性の保護手袋を使用する。
眼の保護具	安全ゴーグル型保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	保護前掛け、保護長靴、保護衣などを使用する。

[9. 物理的及び化学的性質]

外観	無色透明液状
臭い	微臭
pH	約6.0
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	なし
比重	約1.19/20°C
溶解度	水に易溶
自然発火温度	データなし
粘度	<100mPa・s/25°C
爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
分解温度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

[10. 安定性及び反応性]

反応性	自己反応性なし
化学的安定性	通常の手扱いにおいて安定
危険有害反応可能性	通常の手扱いにおいては危険な分解や重合は生じない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	熱分解によりリン酸化物を生じる

[11. 有害性情報]

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性／皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

[12. 環境影響情報]

生体毒性	データなし
残留性／分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

[1 3. 廃棄上の注意]

残余廃棄物

燃焼処理を行う場合、法令規制に適合した設備と方法で焼却する。

希釈水、作業廃水等は、凝集沈澱法、活性汚泥法等の適切な廃水処理を行い規制値内にする。

廃棄する場合、都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者と契約し、処理を依頼する。

汚染容器及び包装

容器はきれいにしリサイクルするか、関連法規及び自治体の基準に従い適切に処理する。

容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に、都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者と契約し、処理を依頼する。

[1 4. 輸送上の注意]

国際規制

国連番号 該当しない

品名 該当しない

国連分類 該当しない

国内規制

陸上輸送 消防法に該当しない。

海上輸送 船舶安全法に該当しない。

航空輸送 航空法に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に洩れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積みこみ、荷崩れ防止を確実に行う。

直射日光を避ける。

漏出時は[6. 漏出時の措置]の項を参照のこと。

緊急時応急措置指針番号 1 7 1

[1 5. 適用法令]

消防法 該当しない

労働安全衛生法 第 5 7 条の 1 表示物質：該当しない

第 5 7 条の 2 通知物質：該当しない

有機溶剤中毒予防規則：該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

船舶安全法 該当しない

航空法 該当しない

化学物質管理促進法（P R T R法） 該当しない

[1 6. その他の情報]

文献： JIS Z7252:2019, JIS Z7253:2019

化学物質総合情報提供システム（製品評価技術基盤機構）

化学品安全管理データブック（化学工業日報社）、各法令集、その他

ここに示す情報は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて誠意を持って作成しておりますが、記載のデータや評価に関していかなる保証をなすものではありません。また新しい知見に基づいて改訂される場合があります。すべての化学物質には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者の各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また特別な取扱いをされる場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱いをお願いします。